

【解説】これもまた、来るべき「地球再生」がどのような性質のもので、どのように心の準備をすべきかを懇切丁寧に教えている。「怖れるな」という仏教の教えの本質を、教えられたように思えないだろうか。

圧巻は、Stasis(クリックして動画を止めた状態)という概念を使って、誰もが疑問に思う、3次元世界から4次元世界への不連続の「量子飛躍」がどう起こるかを説明しているところであろう。これは要するに、時間が経過しているのに経過していないように見える奇跡が起こるということで、実の時間のあいだに虚の時間が挟まれるということであろう。「パーミュダ三角海域」でもこれが起こるらしい。新しい生物がいきなり完成された形で現れる進化(二段階創造)も、これによって説明できるであろう。

今年の9月21日からいよいよ「大清掃」が始まるというのは、当たるか当たらないかわからないが、とにかく「世界が生まれ変わる」ための、目出度い始まりには違いないようである。

より高い計画 (『地球再生Ⅱ』第5章)

ガイア/母なる地球として知られる惑星存在者は、彼女の発達のある大きな転換点に達して、いま5次元地平への通過儀礼を待っている。彼女の足を引っ張るのはただ、彼ら自身の振動率と意識を向上させて合同の“アセンション”を引き受けるのを躊躇している、彼女の表面に住む人間たちである。人類のさまざまな構成員の間の紛争の解決は、今なお手探り状態である。

アセンションを果たした**先覚者クート・フミ** (Master Kut Humi は地球の Spiritual Hierarchy 「霊的階層」の一員) の言葉：――

「なぜ地球が現在の混乱の中にあるかを理解するためには、我々は偉大なアトランティス文明に時間的フラッシュバックをしなければならない。確かにアトランティスは実在したのである！ サイエンス・フィクションの作り事ではなく、地球の過去の歴史の現実の文明として。

「宇宙のどこであろうと人間が人生を経験する目的は、進化の経験によって成長し、彼の永遠の生命の一つひとつの相を習得することにある。では、どのようにして地球の3次元の環境を習得するのか？ 第一に、真に“自分自身を知る”こと、我々は誰なのか、何ものなのか、なぜここにいるかを知ることによってである。第二に、この環境のすべての相を制御できるようになることによって。第三に、地球を理解し、地球とその3次元環境を

超えて存在するものとの関係を知ることによって。

「アトランティスにおいて人間は、この3次元環境のかなりの程度の制御と理解に達して、地球とそこに住む者たちを、物的・霊的成長の4次元的経験にまで導くことのできるころまで来ていた。ところが、進んだ知識を得ていたある者たちが、他の人間たちを奴隷化し、自分の霊的力を他のいろんな方面に誤用することによって、この知識を濫用し悪用するようになった。この霊的力の濫用があまりにも広く行われるようになったとき、それはあるカルマの力を発動させ、ついにこの文明の崩壊と滅亡という結果を招いた。この滅亡は一般に想定されているように、一度の巨大な激震で起こったのではない。むしろそれは何千年も続いた衰退の過程として起こったものである。

「この崩壊の期間に、アトランティス大陸は徐々に崩れ落ち、大西洋 (Atlantic Ocean) の大部分をつくり出した。ある一定の期間にわたって、このかつて偉大だった文明の住人たちは、身に付けたわざや科学技術の記憶を携えて、地球のさまざまな場所に移住し、今日我々を驚嘆させる考古学的な多くの建造物を残したのだった。現代の考古学は、中南米大陸やイギリスやエジプト、その他、地球上の至る所にいまだに存在するその証拠物を、たいていは説明できなくて困っている。最終的には、かつて存在した栄光ある文明の記憶は完全に消失し、ただその秘術を心得ていた錬金術師の意識と、かつてアトランティス人だった者の無意識の中にだけ残った。

「こうしたことすべては、神の計画を明らかにすることと、どう関係するのか？ それはこういうことである——アトランティスは地球上で進化した唯一の大きな文明ではなかった。レムリアのように古代史から失われた他の文明もある。人類がレムリアやアトランティスのレベルに達する度ごとに、それは地球の意識レベルを4次元にまで上昇させる機会を掴める状態だったのに、それはいつも失敗した。失敗の原因はすべて霊的な力を誤って使うところにあった。

「過去においては、まだ別のチャンスがあったので、これを大目に見ることもできた。しかし今我々は、4次元と5次元意識への移行がなされなければならない、地球歴史と銀河進化の時点に達している。

「人類はいま、宇宙的な、不死の生命の、ある銀河系的事実に気付かされつつある。ご存知のように、我々の太陽系は天の川銀河の一部である。我々の太陽系は、天の川銀河の〈大中心太陽〉 (Great Central Sun) を、あなた方の時間尺度で、一周2億600万年かかる軌道を回っている。我々の太陽系の、銀河系を回るこの回転を、〈大サイクル軌道〉 (Great Cycle Orbit) と呼ぶことにしよう。我々の太陽系は45億年以上前に創られた。これは、我々

の太陽系が銀河系の〈大中心太陽〉を回る〈大サイクル〉の22回転に相当する。神の意志においては、我々の太陽系の〈霊的階層＝天使団〉に伝えられたところによると、**われわれの太陽系全体が進化の現在の状態に留まる時間サイクルは、これで終わり**ということである。水瓶座時代が始まるとともに、我々は〈大中心太陽〉を回る新しい周期に入り、新しい振動数に入るが、そこでは5次元以下のいかなる現れも、地球上に存在し続けることはできない。

「人間が最初、我々の太陽系で生きることを経験し始めたのは、2億600万年前、現在の〈大サイクル軌道〉が始まった時である。神の計画では、この太陽系内のすべての人間生命は、この周期の終わりまでには、すなわち、いま魚座時代の終わりによって終結する周期の終わりまでには、少なくとも宇宙意識の存在には気付く予定であった。これは、地球人が宇宙意識の何たるかに直ちに気づき、その意識状態にまで自分の意識レベルを上げるために、必要な行動を取らねばならないということである。そうしないということは、一時的な自己破壊という結果を招くことになる！ 地球人は現在の状態のままでは、どうてい次の新しい振動（数）を受け入れることはできない。

「この〈大サイクル軌道〉の内部に多くのより小さなサイクルがあった。アトランティス文明がその発達の潜在レベルにまで達しそこなったとき、この計画を完成するには、あと黄道十二宮の26,000年しか残っていなかった。現在の魚座時代が終わりに近づくにつれて、この26,000年サイクルは、〈大サイクル軌道〉と共に終わりに達する。（訳者注：魚座時代はすでに2012年12月21日で終わった。）

「今この時、地球惑星は、我々の銀河系の中で、人間が宇宙の意識レベルにいまだに達していない唯一の惑星である。この意識レベルは、神の計画を充足させるためには、いま早急に到達しなければならないものである。」（Channeled by Joseph Whitfield in *The Treasure of El Dorado*, published 1977 by Treasure Publication, Roanoke, Virginia, USA）

[カート・フミの地上での前身は、アリストテレス、John the Beloved、老子（BC 6世紀）、テオドシウス（ローマ皇帝、AD 4世紀）、St. Columba（「カレドニアの使徒」として知られ、スコットランドをキリスト教に改宗させた、AD 5世紀）、アッシジの聖フランチェスコ（12-13世紀）、レオナルド・ダ・ヴィンチ（15-16世紀）だと言われる。]

次にあげる地球変化の予言の多くは、20年以上も前になされたもので、その当時は単に未来の潜在性であったが、そのあるものは未来の現実になる可能性が大きいので、引用しておきたい。

先覚者サナト・クマーラ (Master Sanat Kumara) の言葉：——

「我々の太陽系全体が、いま〈大いなる通過儀礼〉へと入りつつある… 地球は金色のコロナによって取り巻かれるだろう。それはより高い振動率へ踏み込みつつある。あなた方は3次元から、4次元を通過して5次元世界に入ろうとしている。これは、あなた方が大きな“宇宙雲”(フォトン・ベルト)の只中を通過するとき、必然的に起こらねばならない。そしてそのとき、Joel や他の多くの預言者によって記録されたような予言が実現するだろう——太陽が血のように、月がルビーのように赤くなり、日が暮れて地球が2週間のあいだ暗くなる時、大いなる混乱が起こる。そして酸素が地上で、短いあいだ減少し、その後、大いなる湿度(雨)の期間が続き、焼けるような暑さと乾いた地域が、大いなる湿度(雨)と交替にやってくる。地球の表面上のほとんどすべてが破壊される。

「我々は今、この〈大いなる通過儀礼〉の端に差し掛かっており、その中心と目的の完成に少しずつ近づいている。それがキリストが地上へ戻る理由である——常に、ある太陽系の偉大な先覚が肉体を取り、その系の中で最も進歩の遅れている惑星に援助を与えるからだ。

「しかり、破局がやってくると言う人々は正しい。彼らの言うことは当たっている。ただし**地球は終わりはない**。それは予言されている通り、新しくなるのである。地球が終わるとは言われていない。新しい天と新しい地が生まれると言っている。古いものの破壊によってできる新しい地球でなく、**古い地球が新しい地球に生まれ変わる**のである。

(Channeled by Brother Philip in *Secrets of the Andes*, Leaves of Grass Press, Novato, California)

先覚者サナンダ (Master Sananda) のパレスチナのイエスとしての肉化は、聖書で言う「最後の審判の日」と「キリストの再臨」の、2千年前の道ならしである。イエス＝サナンダは現在、「**世界教師**」(World Teacher)として地球世界のための職責を果たしている。以下に、Nada-Yolandaによって1966年8月17日にチャネルされた、彼の「**再臨の知らせ**」の一部を載せる。ナダは生前、Mark-Age Center (現在、テネシー州東北部エルク・ヴァレーにある)の創設者として「**靈的階層＝天使団**」(Spiritual Hierarchy)のチャネリングをした女性である。

「私は、イエスの名、この世界とこの地球に関するすべての主の名において言う。私はキリストとして知られる者である。そしてこのチャネルを通じて、私が再びこの地上にやってきたことを告げる。私の意図は、これを知り信ずるすべての人々が、肉体においてこの事実を見、歓迎するようにさせることである。私はこれ以前に再臨したことはない。なぜ

なら、人間は彼の主を受け入れる用意ができていなかったからである…

「Lord Michael[キリスト・マイケル、Nebadon の我々の地方宇宙の主権者]として知られるこの宇宙の我々の主にして先覚者、および私の先覚教師 Lord Maitreya (弥勒)は、すべての宇宙の法則と、これら特定の次元に特有のすべての物理法則に精通し、それらを支配しておられる…

「あなた方は、私の肉体と人格の復活以来、最後の2千年間のこれらの日々と時間に対して、警告を与えられてきた。その期間と歴史的結果の間、私はこの「再臨」の知らせをもたらす努力をずっと継続して怠ったことはない。これから先の日々、私たちはすべてそのための準備をする——こちらで一つ、あちらで一つと、多くの神の言葉と知らせを叫びながら…

「私は今、幾時代を通じて私に与えられてきた役割を実行する——あなた方の道案内をすること、あなた方の君主、世界と地球惑星に関わるすべての主となることである…」

(Channeled by Nada-Yolanda in “MAPP* to Aquarius: Mark Age Period & Program” - Mark Age Inc., P.O. Box 10, Pioneer, Tennessee 37847, USA)

地球惑星は、2012年12月21日の“アセンション・イベント”、または水瓶座新時代の出発の後には、振動レベルをまず最初、4次元に上昇するように運命付けられている。その折、我々の惑星に魂を与えている偉大な霊的存在のガイアは、5次元に上昇し、同じ高い次元に上がる用意のある他の多くの住人たちもこれについていくだろう。しかし地球人の圧倒的多数は、少なくとも更に3600年を4次元で経験する必要があり、これを彼らは、完全に浄化され改装された4Dの地球上で行うことになる。4次元の存在する地球自体は——これを我々は「天上の領域」とも「サマーランド」とも呼び、それは、我々が3Dの「死の体験」の後そこに昇る、平和と愛と高められた4D環境の美しい世界なのだが——アセンションの時には、5次元に移行するであろう。その後も同様に、存在する5次元地球は6次元に、6次元地球は7次元に上昇するであろう。

9か月後(2012. 12. 21から9か月後)のアセンション・イベント(2013年9月21日)に続いて、我々の現在の3D世界は、いよいよその「浄化/地球変化」を開始し、これは銀河連盟チームと、地上のライトワーカーのボランティアの、最大4年の努力を必要とするだろう。この期間中は、(母船に上げられるライトワーカー以外の)人類の大多数は、“Stasis”(静止状態、中断されたアニメーションの一形態)に入り、そこから彼らは、同じ見かけのカレンダー期間の内部で、“時間経過がなかった”の体験から目覚め、そこで完全に浄化され、リフレッシュされた、美しい4次元の“新しい地球”を目前にするだろう。

4次元となった世界で、彼らは、忘れていた完全な“靈的意識”を取り戻し、我々の隣人の惑星や他のより高い靈的世界との交流ができるようになるだろう。

先覚者ラマーラ (Master Ramala) は 1990 年代初期に、この間の要点をこう述べている：——

「〈無限性の法則〉の知識を通じて物を支配する偉大な存在たちは、地球の振動を活発にして、より生氣ある、より高い周波数に高めようとしている。そのような時には、人間にとっては混乱と断裂と思えることが起こる。なぜなら彼は、過去の自分の振舞いからくる自分の身体的緩慢と、この惑星を支配する存在たちが彼をより高い周波数の意識へと導こうとする試みの間に挟まれ、動けなくなるからである。

「これら偉大な存在たちは、人間が減びることのないように介入しているのである。なぜなら彼の身体の中には、宇宙の偉大な原子構造が存在していて、その緩慢の状態のまま、その瞬間が訪れ——それは必ず訪れる——地球がその軸上にまっすぐ立ったとき、もしこの生命的機敏さが発動しなかったとしたら、人間を構成しているその原子構造は爆発するであろう。なぜなら地球をまっすぐに立たせる力は、この惑星の大規模な原子の拡大を始動させるからである。

「私は分子の構造に入っていくつもりはなく、その変化の瞬間の原子の振舞いの説明はしないが、圧力の変化のために、地球の構造に大きな変化が生ずるであろう。地球全体にわたって大きな荒廃が起こり得る。もちろんそれは過去に起こっている。古代人についての文献や聖書の中に、同じような出来事があったことが書かれている。

「あなた方が破局と呼ぶであろうようなこの激震は、実は破局ではない。それは地球進化の一步前進なのである。死ぬことは永遠の終わりでないことを思い出していただきたい。そして来るべき激震によって実際に死ぬ人たちは、彼らの意識の向上を経験するのだとも。なぜならその死の瞬間に、彼らは学ぶからである。

「あなた方にとっておそらく、ハルマゲドンの概念は恐ろしいものであろう。それは人類の制御を超えたエネルギーの解放を意味する。しかし人類がそのことを知ってさえいれば、彼らは自分自身の環境を制御しようとはしない。人類のなした大きな知的進歩のおかげで、人類は自分が自分の運命の主人であること、自分が物理的世界の主人であること、人間だけが自分の歩く道を決定するものだということを、信ずるようになっている。しかしあなた方の中で、すべての物事において神を意識する人々、神の計画だけがこの地上に現れていることを認める人々は、今始まりつつある「サイクル」は億劫年の昔に計画されたもの

であることを、心の奥底で知っている。それは他のレベルでも見られてきたものであり、多くの存在者によって予言されてきた。それはこの地球にとって必要な進化の通り道である。あなた方はしたがって、その進化の通り道を目撃者としてここにいるのである。あなたの存在の最も深いところに、来るべきものの知識がある。それは意識的レベルにあるもの、日常の物理的現実へと引き出せるレベルにあるものではないかもしれない。しかしあなたの心の奥底には、来るべきものと、あなたがそこで演じなければならない役割についての知識がある。」